

平成30年度の事業報告書

平成30年8月1日から令和1年7月31日まで

特定非営利活動法人 窯どこ

1 事業の成果

NPO 法人窯どこは、土岐市周辺地域が一体となった陶磁器産業を核とした観光産業に関する諸事業を行うことにより、交流人口の増加、陶磁器産業のPRを進め、地場産業の発展及びまちの活性化を図ることを目的としている。

全国各地から焼き物の魅力にひかれこの地域の事業所で働きながら夜間や休日に美濃焼の技術の習得に励んでいる若者の支援を目的に「土岐市まちづくり支援事業費補助金」により空き工場を整備し安価な使用料で提供し支援をしている。工房のトイレの故障や雨漏りなど活動拠点としての環境は低下しており、入所者の減少が懸念されている。今年度も改修工事などで整備を進める計画であったが、空き工場であったことなどの理由で痛みが激しく、改修にはある程度の資金が必要であることと、窯のメンテナンスにも費用が今後発生してくることは確実であり、資金難の不安で改修は出来ていない。長期的な安定した支援体制を整えるには、運営上の資金を確保していく事が大きな課題となっている。

次年度は、運営体制の強化を図る目的で役員の刷新を図り、寄付金や補助金などの資金確保も強化し、若者の支援と同時に地域産業の支援にも活動を広げていく計画である

また、土岐市駄知町の歴史を検証し町の魅力を再発見する事を目的とし、江戸時代に岩村藩主が参勤交代の際に、中馬街道へ抜ける為に駄知町を通ったと言われる大名街道の整備の活動を行っている。

大名街道には、「NPO 法人窯どこ」の平成20年度事業により、地元企業や個人からの寄付と協力を得て、当時の大名行列の様子を陶壁画「大名絵図」（故安藤実氏絵付け）を設置している。

令和2年1月より、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の放映が始まることで、東濃地域（土岐市）が脚光を浴びてくると考えられ、地域の歴史にも関心が高まると期待しており、更に不動の滝大名街道の整備事業にも力を注いでいきたいと考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房の入所者との月例意見交換会	(A) 平成30年8月～令和1年7月 毎月12回 (B) 丸林工房 (C) 十数名	(D) 全国から土岐市内に来て作陶活動をしている若者 (E) 10名	24千円
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房整理整頓・清掃後の懇親会	(A) 平成31年4月15日 (B) 飲食店(ウパハル) (C) 8名	(D) ・多治見意匠研究所生徒(卒業生) ・瀬戸窯業訓練校生徒(卒業生) (E) 10人	20千円
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房の賃借料 (作陶の為の工房と、交流を目的とした拠点として活用)	(B) 平成30年8月～令和1年7月 (B) 旧丸林製陶所 (C) 入所者と来訪者・関係者	(D) 入所者と交流者 (E) 約20人	300千円
美濃焼産業観光施設整備事業	丸林工房の維持管理事業 電力費基本料・賃借料・水道光熱費等の施設維持管理	(A) 平成30年8月～令和1年7月 (B) 旧丸林製陶所 (C) 8名	(D) 土岐市在住の作陶家と従事者並びに後継者 (E) 十数名	16千円 122千円 127千円
美濃焼産業観光施設整備事業	不動の滝の街道と「大名街道陶壁」の清掃と整備	(A) 平成30年8月12日 (B) 駄知町不動の滝周辺 (C) 6名	(D) 駄知町大名街道周辺住民と来訪者 (E) 数十人	60千円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
	なし	(A) (B) (C)	

平成30年度 収支計算書
平成30年8月1日から令和1年7月31日まで
特定非営利活動法人 窯どこ

単位：円

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 収入の部		
1 会費・入金会収入		
会費（工房運営資金）	804,000	
会費（懇親会費）	24,000	
特別会費（窯燃料賦課金）	99,070	927,070
2 寄付金等		
寄付金（工房運営資金）	60,000	
寄付金（法人運営資金）	180,000	
特別寄付金（作品販売寄付金算入）		240,000
3 雑入		
利息 普通預金受取利息	6	6
4 事業収入		
PR・産業活性化事業 DON・ONEブランド	0	0
当期収入合計（A）		1,167,076
前期繰越収支差額		1,966,452
収入合計（B）		3,133,528
II 支出の部		
1 事業費		
丸林賃借料 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房賃借料	300,000	
光熱費（電灯100V） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房光熱費	126,895	
電力費（200V） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房電気燃料費	121,514	
燃料費（ガス） 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房ガス燃料費	66,097	
会議費工房運営 美濃焼産業観光施設整備事業 人材育成 工房定例会議費	24,000	
懇親会費 美濃焼産業観光施設整備事業 交流会・懇親会	0	
陶壁維持管理費 PR・産業活性化事業 陶壁維持管理費	60,000	
工房維持管理費（修繕費） 美濃焼産業観光施設整備事業 電気窯修繕費・上水道管修繕	16,200	
		714,706
2 管理費		
事務所賃貸料 若尾 洋造	120,000	
会議運営管理費 会議場使用料	60,000	
振込手数料 支払い手数料	3,888	
水道使用料金 上水道使用料金	14,418	
雑費 雑役務費(会計処理)・火 災保険	30,000	
		228,306
当期支出合計（C）		943,012
当期収支差額（A）-（C）		224,064
次期繰越収支差額（B）-（C）		2,190,516

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和1年7月31日現在
 特定非営利活動法人 窯どこ

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現預金		1,470,350	
流動資産合計			1,470,350
2 固定資産			
器具備品		1,211,295	
固定資産合計			1,211,295
資産合計			2,681,645
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	若尾洋造	50,000	
借入金	若尾洋造	51,000	
流動負債合計			101,000
2 固定負債			
長期借入金	若尾洋造	390,129	
固定負債合計			390,129
負債合計			491,129
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		1,966,452	
当期正味財産増加額(減少額)		224,064	
正味財産合計			2,190,516
負債及び正味財産合計			2,681,645

平成30年度特定非営利活動事業会計財産目録

令和1年7月31日現在

特定非営利活動法人 窯どこ

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	633,367		
普通預金（十六銀行 本体事業）	900		
普通預金（十六銀行 市民提案事業）	1,242		
普通預金（十六銀行 展開時事業）	352		
普通預金（十六銀行 工房活動事業）	834,489		
流動資産合計		1,470,350	
2 固定資産			
器具備品			
ガス窯	483,408		
ガス窯用配管設備	205,438		
電気窯用配線設備	144,449		
電気窯	378,000		
固定資産合計		1,211,295	
資産合計			2,681,645
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金 若尾洋造	50,000		
短期借入金 若尾洋造	51,000		
流動負債合計		101,000	
2 固定負債			
長期借入金 若尾洋造	390,129		
固定負債合計		390,129	
負債合計			491,129
正味財産			2,190,516